

令和5年度 全国学力・学習状況調査

本校児童の学力・学習状況の分析及び改善策について

初冬の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、8月31日配付の学校だよりで今年度の全国学力・学習状況調査の結果の概要についてお知らせしておりましたが、さらに詳しい状況分析及び改善策についてお知らせをいたします。

本校では、結果の分析から得られた課題の改善に努め、子どもたちに確かな学力を身に付けさせていきたいと考えておりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

1. 平均正答率からの分析

(1) 本校児童の教科別理解度（全国平均正答率との比較）

教科	国語	算数
結果	同様である	やや上回っている

(2) 本校児童の領域別理解度（全国平均正答率との比較）

2. 各教科の分析及び改善策

国語	分類	学習指導要領の内容				
	区分	知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		
	結果	言葉の特徴や使い方	我が国の言語文化	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
	結果	同様である	上回っている	下回っている	上回っている	同様である

算数	分類	学習指導要領の領域			
	区分	数と計算	図形	変化と関数	データの活用
	結果	同様である	やや上回っている	やや上回っている	上回っている

【国語】

本校の国語の平均正答率は、全国と同様、全道をやや上回る結果となりました。分類の思考力、判断力、表現力のうち「書くこと」は、全国正答率より上回りました。一方、「話すこと・聞くこと」は全国正答率より下回っており、本校の課題と捉えております。問題形式ごとにみると、選択式や短答式に比べ、記述式では低い正答率となっていた。問題形式ごとにみると、解答が記号等を選択する「選択式」や単語を記入する「短答式」に比べ、記述式では低い正答率でありました。設問の内容を理解し切れていないということや、文字数などの条件を満たして書くことに課題があると捉えております。

<国語：今後の授業・指導の改善点>

- ◆自分の考えを整理して、他者に伝えることができるようにします。
- ◆自分の考えと比較して、他者の考えを聞くことができるようにします。
- ◆与えられた条件を整理し、解答に必要な条件を理解できるようにします。
- ◆与えられた条件の中で文を書くことができるようにします。
- ◆事実と感想、意見を区別し、文章構成を工夫して表現できるようにします。

【算数】

本校の算数の正答率は、全国・全道をやや上回る結果となりました。領域ごとに見ていくと「データの活用」が全国を上回った結果となり、「図形」「変化と関数」はやや上回りましたが、「図形」の領域が他の領域と比べ正答率が低くなっていました。また、中学年で学んだ「図形」の性質について、基本的事項の定着が不十分であることや、学んだことを日常の場面で活用する力に課題があると捉えております。また、設問から得られる情報量が多いため、何を問われているのかを捉え、解くために必要な数値を選択する等に苦慮している児童が多いことがわかりました。

＜算数：今後の授業・指導の改善点＞

- ◆図形領域を中心に、既習事項の定着と活用をできるようにします。
- ◆情報を整理し、立式できるようにします。
- ◆与えられた条件の中で、解答文を書くことができるようにします。
- ◆プログラミング的思考の学習を充実させます。
- ◆算数用語や概念を理解し、それを利用できるようにします。

※ 各教科で本校児童にとって特徴的な結果の見られた問題を紹介していますのでご覧ください。

【国語：特徴的な結果の見られた問題①】

1 二 書くこと 記述式による解答

出題の趣旨

図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題です。

分析

問題文の**指示や条件**（この場合は、「川村さんの文章」「カード④」「カード⑤」の3つをもとにして書く）の**全てを満たして書くことができずに誤答**となったケースが目立ちました。**指示や条件に合わせて適切に書く力**を身に付けていく必要があります。

1

川村さんは、学校の田んぼで取り組んだ米作りについて文章を書こうとしています。次は、川村さんの考えと川村さんが選んだ「カード①」から「カード⑤」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【川村さんの考え】

雑草が増える問題が起きたけれど解決してよかったな。米作りのときに記録していたカードの中から選んだカードをもとに、米作りに興味のある人に向けて問題点とその解決方法を書こう。

【カード①】

6月24日

- ・思ったより学校の田んぼに雑草が生えてきた。
- ・このまま雑草が増えたら米のしゅうかくにえいさようするのではないかと心配だ。

【カード②】

6月30日

- ・雑草取りをしているが、農家の田んぼには見られないほど、雑草の量が増えてきた。どれくらい増えているのか雑草の量を調べる。
- ・調査方法 週に1回、農家の田んぼと学校の田んぼの雑草を取って、量くらべる。
- ・調査さかん 7月1日～15日

【カード③】

7月19日

- ・学校の田んぼでは、雑草の量に対して雑草取りが追いついていないと考えられる。
- ・雑草の量と米のしゅうかくの関係について農家の石山さんに話を聞きに行く。

【カード④】

7月20日

【農家の石山さんのお話】

- ・雑草に栄養をとられると、米のしゅうかくが減る。
- ・雑草が多いと、いねが病気になることがある。
- ・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

【カード⑤】

7月21日

【学校でできる解決方法】

- ・雑草取りの回数を増やす。
- ・雑草取りの人数を増やす。

川村さん

（条件）

- 学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ（農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量）と「カード①」のそれぞれから分かることを書くこと。
- 問題点の解決方法については、「カード⑤」をもとにして書くこと。
- 六十文字以上、百字以内にとめて書くこと。

※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

※◆の印から書きましょう。どちらうで行を変えないで、続けて書きましょう。

【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしゅうかくすることができました。しゅうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、**ア**いかに雑草が生えてきて、とてもこままりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼと**イ**くらべてみました。**ウ**さかんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。

農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量

(単位)

10gあたりの雑草を取って同じ大きさのバケツに入れ、その個数を雑草の量とする。

このようなことに取り組み、9月の下旬にお米をしゅうかくすることができました。

二

川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の**問題点**とその**解決方法**について書こうとしています。あなたが川村さんなら、どのように書きますか。おどの条件に合わせて書きましょう。

【算数：特徴的な結果の見られた問題①】

2 (4) 図形 思考・判断・表現 記述式による解答

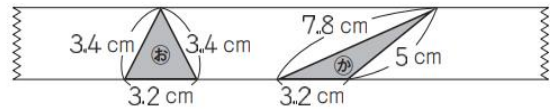
出題の趣旨

高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題です。

分析

誤解答の多くは、底辺が同じ長さだということ是指摘しているが、**平行な二つの直線の幅はどこでも等しい**ことに着目できずに、高さについて具体的な長さが示されていないと記述し、このままでは比べることができないと判断しているものでした。**数値で示されていなくても「高さが同じである」ことを捉え**、底辺と高さが等しい三角形の面積は等しくなるなど、定義を確実に定着させるよう指導していく必要があります。

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊸と㊹の2つの三角形をつくります。



上の㊸と㊹の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ㊸の面積のほうが大きい。
- 2 ㊹の面積のほうが大きい。
- 3 ㊸と㊹の面積は等しい。
- 4 ㊸と㊹の面積は、このままでは比べることができない。

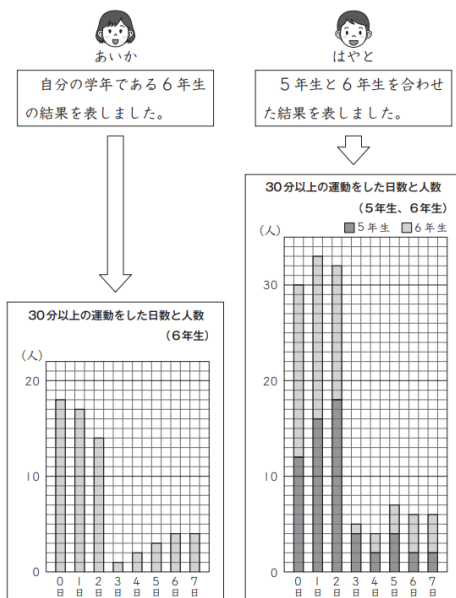
【算数：特徴的な結果の見られた問題②】

4 (3) データの活用 思考・判断・表現 記述式による解答

出題の趣旨

示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる問題です。

(3) あいさんたちは、5年生と6年生に運動カードを配って調べた結果をポスターにのせるために、30分以上の運動をした日数と人数をグラフに表すことにしました。



あいさんたちは、左の2つのグラフをもとに、気づいたことについて話し合っています。



どちらのグラフも「0日」、「1日」、「2日」の人数が多いということが同じですね。



でも、2つのグラフをくわしく見ると、ちがうところもありますね。

そこで、あいさんたちは、日数に着目して、2つのグラフのちがうところを、次のようにまとめました。

【「0日」についてまとめたこと】

「0日」に着目すると、次のようなちがいがあります。
6年生のグラフでは「0日」の人数が1番目に多く、5年生と6年生を合わせたグラフでは「0日」の人数が3番目に多いです。

【「0日」についてまとめたこと】と同じように、「1日」に着目してまとめると、どのようなようになりますか。

下の[]の中に、「6年生のグラフ」、「5年生と6年生を合わせたグラフ」、「1日」の3つの言葉と数を使って書きましょう。

【「1日」についてまとめたこと】

「1日」に着目すると、次のようなちがいがあります。

※ 解答は、すべて解答用紙に書きましょう。

分析

「3つの言葉を使って書く」という条件のついた設問で、無回答が多く見られ、**思考・判断・表現の観点と記述式に課題**が見られました。解くために必要な数値を選択する等、プログラミング的思考に基づいて、記述する力を伸ばす必要があります。

3. 児童質問紙の結果から

(1) 全国平均の上回っている項目（特徴的なもの）

項 目	
4	自分には、よいところがあると思う
6	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている
8	人が困っているときは、進んで助けている
1 1	人の役に立つ人間になりたいと思う
1 2	学校に行くのは楽しい
1 4	友達関係に満足している
1 5	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはあるか
1 6	家で自分で計画を立てて勉強をしている（学校の授業の予習や復習を含む）
1 9	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっている（インターネットを通じて教わっている場合も含む）
2 4	読書が好き
3 8	授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている
4 1	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる
4 5	国語の授業の内容はよく分かる
5 0	物語文を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目している
5 7	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う

(2) 全国平均の下回っている項目（特徴的なもの）

項 目	
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ている
3	毎日、同じくらいの時刻に起きている
5	先生は、あなたのよいところを認めてくれている
7	将来の夢や目標を持っていますか
1 0	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる
1 7	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日2時間以上勉強をしている（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
2 9	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使用した
3 0	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う
3 4	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた
3 9	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる
5 1	算数の勉強は好き
5 3	算数の授業の内容はよく分かる
5 5	英語の勉強は好き

【質問紙の結果から見える課題と改善策】

- ①「自分にはよいところがあるか」という質問では、大半の子が自分のよさを捉えており、自己肯定感をもっている子の割合が高いです。また「人が困っているときは、進んで助けている」「人の役に立つ人間になりたいと思う」「友達関係に満足している」の質問に対しても、大半の子が「当てはまる」と回答しており、周りの人たちに対してよい人間関係が築けている子が多くいることがわかります。一方、「将来の夢や目標を持っているか」という質問には、「当てはまらない」と回答している児童の割合が高い傾向にあります。自分自身を見つめ将来について考える機会を大切にしていける必要があると考えます。
- ②先生は「分かるまで教えてくれている」という質問については、ほぼ全員が教えてくれていると回答をしています。一方、「よいところを認めてくれている」については他の設問と比較して2極化の傾向が見られ、「困りごとや不安を相談しにくい」と感じている児童も一定程度いることがわかりました。児童の自己肯定感を大切にしながら、結果だけではなく取組の過程など、子どもたちの頑張りを広く見取り認めることと、いつでも相談しやすい雰囲気づくりを進めることが必要であると考えます。
- ③平日も土日も、1時間以上2時間未満勉強をしているという回答の割合が最も高くなっています。時間だけを評価するのではなく、そこに費やしている学習内容や学習方法も重要です。質の向上を一層図るために、家庭学習のノートを見合う、良い内容のものを紹介するというこれまでの手立てを継続すると共に、中学生のノート紹介（小中一貫教育の取組の推進）なども考えていく必要があると考えます。
- ④国語の「好き」「よくわかる」については全国平均より高い傾向が見られますが、算数の「好き」は低く、苦手意識を持っている子の割合が高いことが窺えます。一人一人の躰きを見取り、少人数指導を効果的に取り入れるなど、工夫した指導を進める必要があると考えます。

4. 全校的な改善策について

- (1) 日常のテストの結果や学習状況の分析・考察をもとに、指導方法工夫改善に係る教諭、支援員や学習指導員、学習サポート教員等の配置を工夫し、個に応じた指導の充実を図ります。
- (2) ICT機器の有効活用によるわかりやすい授業づくりなどの改善に役立て、「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善に向けて自己評価を行います。また、「国語・算数の一単位時間の学習の流れ」（言語タイム・復習タイム、課題把握、思考・意図的交流、終末の振り返り、まとめ、定着・習熟時間の設定）の徹底を図ります。
- (3) 九九検定・たしひき検定等の各種検定、百マス計算の実施などにより、基礎・基本の確実な定着と繰り返し学習の徹底を図ります。
- (4) 全国学力・学習状況調査および標準学力調査の過去問題の活用や、チャレンジテストの実施を通して、出題傾向や時間配分を踏まえて問題に取り組む力、最後まで諦めずに解答を記入・選択する力などの育成を図ります。
- (5) 家庭学習の手引きや生活リズムチェックシートを活用し保護者との連携により家庭学習の習慣化に取り組む。年4回の家庭学習調査を実施し、学年×10分間以上の目標を達成していない児童には、具体的な取組み方法（何を、どうやって、いつするか）をサポートします。また、学習意欲の向上、自己肯定感を高めるためにキャリアパスポートを定期的に活用します。

※ これらの改善策を実効性のあるものとするためにも、生活習慣の見直しや家庭学習の習慣の確立が必要になってきますので、保護者や地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。